

学校の防犯力向上 1

市民防犯インストラクター武田信彦

想像力をフルにつかって、想定と対策を！

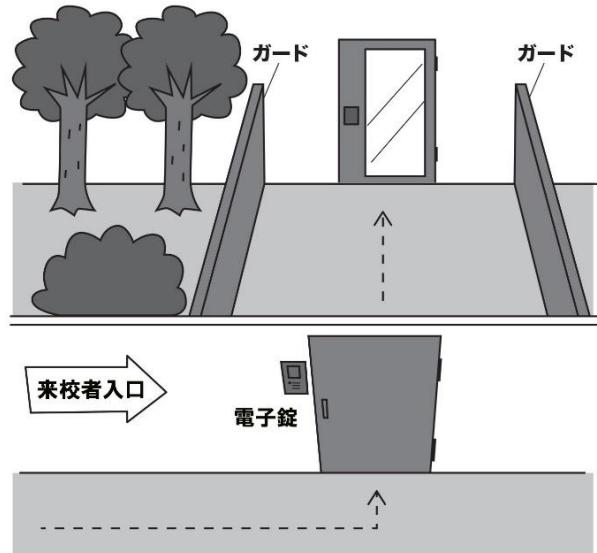
防犯対策から“予想外”を無くそう！

学校安全は、危機管理マニュアルに基づき、日頃からの備えや心構えが欠かせません。学校で起こり得る[事案][侵入者]については、先入観を持たずに幅広い視点から想定を行うことが重要です。不特定多数への暴力、ストーカー、クレーマー、窃盗、撮影等の迷惑行為、動機不明…。さらに、複数の侵入者、教職員がターゲットにされるケースなどの発生も想定するべきです。



外構 → 敷地 → 校舎 → 受付

学校の状況に応じて、閉門・施錠など各段階での防犯力向上がもとめられます。とくに来校者の動線の管理は防犯面からもポイントとなり得ます。看板による来校者用玄関への誘導、インターホン＆電子錠での通用口の開閉、校庭側へ回り込むことを防ぐ対策等を行いましょう。校舎内の受付では、来校者を知らせるセンサー、確実な応対、教室エリアに立ち入れないゾーニング等の対応が重要です。



来校者への対応こそ基礎！

危険度が高まる侵入者対策は、日々の来校者対応の延長にあるものです。来校者対応を確実に行うことこそ、侵入事案の予防力となり得ます。受付を担当する職員のみならず、教職員ひとり一人が来校者へ目を向けて声かけを行う習慣が重要です。関係者が否か…属性を問わずに「あれ、変だな？」=[防犯的違和感]をおぼえた際は、その感覚を無視せず、マニュアルに基づいて対応しましょう。

